

ひなまつり



第50回運営推進会議



2022/03/03

新型コロナウイルス感染拡大防止の為会議は休止しております。

グループホームつながり

登録数16名

男性 3名

女性 13名

令和 4年	3月	
	前回推進会議時	現在状況
要支援 2	0	0
要介護 1	3	3
要介護 2	2	2
要介護 3	2	3
要介護 4	8	6
要介護 5	1	2
申請中	0	0
合計	16	16

平均介護度
3.1

日々の活動報告

2月・3月

バイタル測定

散歩

病院往診・受診

創作活動

洗濯物干し

訪問歯科

入浴

洗濯物たたみ

訪問リハビリ

ラジオ体操

調理補助

新型コロナウイルスワクチン接種3回目

口腔体操

食器拭き

節分豆まき

カラオケ

居室・フロア清掃

避難訓練

ひなまつり

3月の職員研修:防災について

BCP策定

1.基本方針の立案 **何のためにやるのか?**

『人命第一』を基本として、「供給責任」「雇用責任」「地域貢献」という社会的使命を踏まえて、経営方針・経営理念も組み込みながら、どのような方針で臨むかを決めます。

2.重要業務の検討 **何をやり、何をやらないのか?**

大災害時には、業務の復旧・復興に優先順位をつけて行動します。
入居者の状況・入居者家族との関係、職員の状況、社会的影響等の要素を総合的に勘案して最優先復旧業務（重要業務）を明確にします。そしてそこに資源を集中投入します。

3.被災状況の想定と影響評価 **今のままだとどういう状況になるか?**

自然災害等が発生した時の被害レベルを想定し、業務への影響を考えます。
施設の重要業務の弱みを明確にするとともに、入居者・職員・建物の被害状況等を想定し、業務再開時期（目標復旧時間）を決定します。
感染症については、発生段階別に業務継続への影響を考えます。

4. 事前対策の実施 **どうすれば被害を軽減できるか？**

重要業務を目標復旧時間内に復旧するために、事前対策として必要なものを洗い出し、項目ごとに6W2Hで実行計画を立てます。

感染症については、発生段階別の対策を踏まえて、事前対策を考えます。

5. 緊急時の体制整備 **誰が何をやるのか？**

災害が発生すると同時に、通常の業務体制から非常事態体制に変わります。

災害発生直後の初動対応の組織や、時間経過とともに復旧体制へ移行する組織を整備するとともに、その統括責任者とその代理責任者を決めておきます。

体制を定期的に見直すことが大切です。

災害発生時、的確に動けるように平時から準備しましょう

いくら計画を策定しても、必要な時、役に立たなければ意味がありません。発災と同時に、非常事態体制に移り、一人ひとりが的確に行動できるように、平時から準備しましょう。

非常事態体制の訓練をしましょう。

これによって、不足したもの、見落としていたものを発見し、BCPをアップデートしましょう。

⇒ **2/28 避難訓練実施。 通報・避難以外に電気・ガスの供給がストップした想定で訓練を実施。これにより足りない物・非常食の内容・量等確認する事が出来た。地域との連携の必要も再確認。**

気づき・アクシデント

2月・3月

・ アクシデント 3件

内容:T・S 様 2月8日(火) PM 10:20

夜間帯に目覚めトイレ利用後居室に戻られるが、すぐに『ドスン』と音がした為訪室する。

タンスを背に尻もちをつかれており、右腕に痛みの訴えあるも外傷はない。

バイタルチェック BP167/81 P59 KT36.1℃

ご自身で立ち上がり入床される。

⇒ その後血圧も安定し、痛みもなく大事には至りませんでした。

・ 気づき 18件

内容:S・O 様 2月20日(金) PM 5:00

O様の点眼薬を準備している際、O様の袋の中にF様の点眼薬が入っている事に気づく。

必ず使用後は間違いなく戻す事を徹底する。

H・U 様 3月25日(金) AM 8:15

食後の薬を服用されている時に咽があり、口から薬が出てしまう(錠剤1錠)

職員が確認していた為飲みなおしていただく。



ホームからの景色

グループホームつながり

☎ 055-970-2938